



報道発表資料

2013年12月4日

株式会社インターコム
インフォテリア株式会社

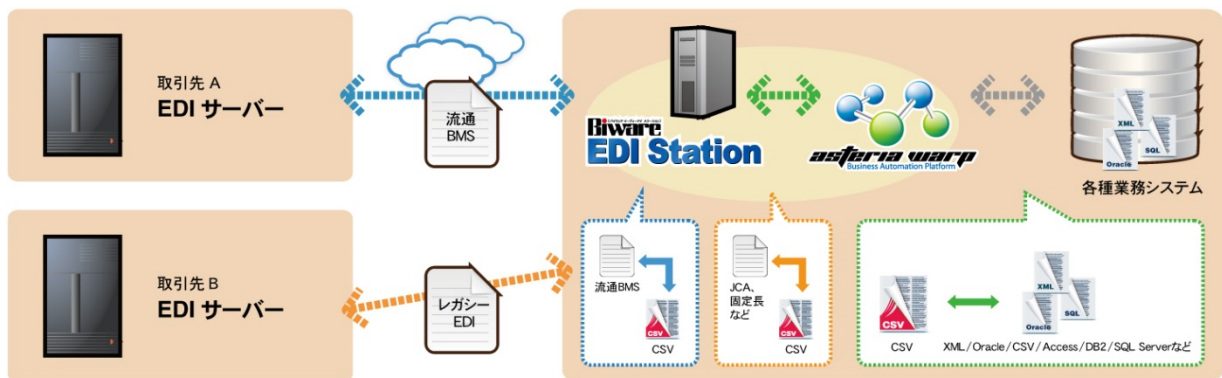
**インターコムとインフォテリア、顧客企業とのデータ・システム連携を
ノン・プログラミングで実現する EDI ソリューションの提供を開始**
～ 取引先と社内システムのデータ仕様・形式に柔軟に対応し、EDI の一元管理を支援 ～

株式会社インターコム（本社：東京都台東区、代表取締役社長：高橋啓介、以下、インターコム）とインフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）は、流通 BMS^{※1} を始めとする各種業界の EDI に対応したインターコムの EDI 統合管理パッケージ、「Biware EDI Station（バイウェア イーディーアイ ステーション）」と、インフォテリアのデータ連携ミドルウェア、「ASTERIA WARP（アステリア ワープ）」を組み合わせることで、取引企業間のシームレスなデータ連携を実現する新しい EDI ソリューションの提供を本日 2013 年 12 月 4 日より開始します。

企業ではこれまで EDI による取引を行う際、業界標準の EDI が規定されている場合でも、得意先ごとに個別に設定された取引データの仕様へ合わせる作業が発生したり、社内システムと連携させるために個別に連携アプリを開発したりと対応に多くの時間を必要としていました。インターコムとインフォテリアの製品を組み合わせることで、EDI の各種取引データと社内システムがシームレスに連携し、これまで多くの時間を必要としていた設定や開発作業を大幅に軽減できるため、今回の協業に至りました。

今回の EDI ソリューションの提供にあたり、流通 BMS で現在最も普及しているバージョンである「流通 BMS 1.3」を使用して、取引先と社内システムとのデータ連携を実証実験にて検証しました。検証内容は下記の通りです。

- 「Biware EDI Station」で受信したデータを「ASTERIA WARP」で加工・分割し、データベースに登録。
- 「ASTERIA WARP」でデータベースから抽出したデータを変換し、「Biware EDI Station」で送信。
- 「Biware EDI Station」の送信状況を、「ASTERIA WARP」の管理者画面で確認。
- すべて両製品の持つ API を利用し、設定のみで実現。



「Biware EDI Station」と「ASTERIA WARP」の連携ソリューションイメージ

なおこの検証にて、「流通 BMS 1.3 (JX 手順・EDIINT AS2・ebXML MS)」だけでなく「Biware EDI Station」が対応するレガシーEDI手順 (JCA 手順・全銀手順・全銀 TCP/IP 手順) でも社内システムとのデータ連携が可能であることを確認しています。

→連携紹介ページ <http://www.infoteria.com/jp/warp/feature/verified/intercom.php>

インターコムとインフォテリアは今回の EDI ソリューションの提供により、企業間取引の普及と取引業務の自動化による業務効率化を強力に促進して参ります。

■ 「Biware EDI Station」 について

シリーズ累計で 21 万本以上の販売実績を誇るインターコムの EDI パッケージ「Biware」シリーズの最上位製品です。システムの高い安定性を確保するサーバーの負荷分散、耐障害性を確保するサーバーの冗長化、最大 64 回線に対応するレガシーEDI (JCA 手順、全銀手順、全銀 TCP/IP 手順) の回線増設、インターネット EDI (EDIINT AS2、ebXML MS、JX 手順) の最大 48 同時接続など、EDI システムに求められる高い拡張性や信頼性を兼ね備えています。さらに、ドラッグ & ドロップの簡単操作で取引処理の流れを構築できる優れた操作性、業務システムへの組み込みを簡単に実現する API 連携などの機能も搭載しています。

→ Web サイト <http://www.intercom.co.jp/biware/station/>

■ 「ASTERIA WARP」 について

ASTERIA は、『ノン・プログラミング』をコンセプトしたデータ連携ミドルウェアです。データ連携に必要な処理をアイコン化しコンポーネントを用いて GUI ベースの開発環境によって様々なシステム間およびデータの連携が可能です。最新バージョンの「ASTERIA WARP 4.7」では、エンタープライズ向けシステムで必要となる信頼性、安定性、効率性、性能を重点的に強化すると共に、ビッグデータ環境との連携に対応しています。

→ Web サイト <http://www.infoteria.com/jp/warp/>

■株式会社インターコムについて

1982年の創業以来、コンピューター向け通信ソフトウェア専門の研究開発型カンパニーとして、「まいと〜く」「FALCON」「Biware」など数々の商品を生み出し、今日ではコンピューター業界を通して“通信のインターコム”との評価をいただくほどになりました。近年では、企業、学校、コンシューマー向けに、通信（レガシー/インターネット）およびセキュリティ、ユーティリティ関連のソフトウェア・ハードウェアソリューションの研究開発・販売、EC ショップ運営などを行っております。

→ Web サイト <http://www.intercom.co.jp/>

■インフォテリア株式会社について

1998年に国内初のXML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。

主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 4,000 社以上（2013 年10 月末現在）の企業に導入されています。

また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、現在 580 社以上（2013 年9 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

→ Web サイト <http://www.infoteria.com/>

※1: 流通 BMS（流通ビジネスメッセージ標準）とは、日本チェーンストア協会と日本スーパーマーケット協会の共同ワーキンググループによって策定された流通業界における新たな EDI ガイドラインのこと。通信手順にインターネット EDI を、データフォーマットに可変長 XML を採用している。

※ 本文中の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社インターコム

営業本部 営業推進部 広報宣伝グループ 山中 弘重、澤田 季治

TEL : 03-3839-6775

E-mail : market011@intercom.co.jp

インフォテリア株式会社 広報担当：嶋 かおる

TEL:03-5718-1297 FAX:03-5718-1261

E-mail: press@infoteria.com

■本製品に関するお問い合わせ先

株式会社インターコム

営業本部 東日本営業部 EDI 営業グループ

TEL : 03-3839-6240

お問い合わせフォーム :

<http://www.intercom.co.jp/contact/station/product.html>

インフォテリア株式会社 プロダクトマーケティング

製品担当：森 一弥

TEL: 0120-279-140

E-mail: pm@infoteria.com

■ 本プレスリリースの掲載 URL

http://www.infoteria.com/jp/news/press/2013/12/04_01.php

http://www.intercom.co.jp/press/news/2013/1204_station.html